

Fairwood (52 HK)

香港 / 消費 / 決算プレビュー

16年度の業績プレビュー：調整済み純利益は23.5%増を見込む

2016年6月15日

- 香港の既存店売上高伸び率ならびに順調に進む拡大計画を背景に、売上高は7.3%増を見込む
- 食品コストの低下を背景に、粗利益率は1.2ポイントの上昇を見込む
- 人件費ならびに賃借費用は緩やかな増加を見込む



予想の修正 (%)

3月31日決算	16年度予想	17年度予想
売上高の変更	(1.1%)	(1.1%)
純利益の変更	(5.9%)	(5.2%)
EPSの変更	(5.9%)	(5.2%)

主な銘柄データ

52週間の高値/安値	28.1 / 20.3 香港ドル
30日間の1日平均出来高	0.09 百万
発行済み株式数	127.00 百万
時価総額(香港ドル)	3,486 百万
主要株主	Dennis Lo 取締役 (43.74%)

株価パフォーマンス



主要財務データ

3月31日決算	14年度	15年度	16年度 予想	17年度 予想
売上高(100万香港ドル)	2,038	2,245	2,408	2,763
伸び率 (%)	5.6	10.2	7.3	14.8
純利益(100万香港ドル)	108	144	190	254
伸び率 (%)	(22.8)	33.8	31.7	33.9
EPS(香港ドル)	0.86	1.14	1.49	2.00
伸び率 (%)	(23.2)	33.1	30.8	33.9
PER(倍)	32.6	34.4	18.5	13.9
DPS(香港ドル)	0.62	0.80	1.01	1.36
イールド (%)	2.2	2.9	3.7	4.9

出典: 会社データ、京華山一予想

最新情報

Fairwoodは2016年6月21日に16年度(2016年3月期)の本決算を発表する予定である。

業績プレビュー

香港の既存店売上高伸び率ならびに順調に進む拡大計画を背景に、売上高は7.3%増を見込む Fairwoodの16年度上半期の香港におけるレストランの新設数は4店舗に留まったが、16年度下半期に拡大ペースを加速し、東九龍ならびに新界の住宅地域を中心に更に10店舗を新設し、香港の店舗総数は129店舗になった。また、当社は勘定1回あたりの平均支払い額が3.8%増加し、来店者数が2%増えたことを背景に、香港の既存店売上高伸び率が通年で5.9%、香港のレストラン部門全体の16年度の売上高が9.1%増加したと予想している。当社は、総売上高が7.3%増の24億800万香港ドルになったと予想している。

商品コストの低下を背景に、粗利益率は1.2ポイントの上昇を見込む 当社は、新興市場の通貨(特に人民元)の下落ならびに景気の後退を受けた中国での調達コストの低下を背景に食品コスト(売上高に占める比率:24.8%)が低下したことにより、16年度の粗利益率が14.9%から16.1%に上昇したと予想している。そのため、当社は16年度の粗利益/調整済み純利益が3億8,800万香港ドル(前年比:16.2%増)/1億7,800万香港ドル(同23.5%増)になったと予想している。

人件費ならびに賃借費用は緩やかな増加を見込む 店舗の86%は住宅地に近接していることから、Fairwoodは一等地の小売り向け賃貸市場の軟化からあまり恩恵を受けていないため、当社は平均賃借料については1桁台の緩やかな上昇を見込んでいる。人件費については、食品飲料セクターにおける労働者需要が引き続き旺盛であることから、当社は16年度に人件費の上昇率が1桁台後半になったと予想している。これらを総合した上で、売上原価に占める賃借料と人件費を合わせた比率が52.3%(15年度:51.5%)になったと予想している。

当社の見方

食品コストの削減が予想を上回る業績の上振れをもたらす可能性がある 当社は、目先の売上高ならびに利益率の改善に対するより慎重な想定を考慮した上で、16年度/17年度/18年度の調整済み純利益の従来予想を小幅修正し、4.7%~6.3%引き下げた。だが、当社はFairwoodに対する強気の見方を変えておらず、15年度~18年度の3年間の調整済み純利益の年平均成長率については32.0%を見込んでいる。当社は、食品調達費用のさらなる削減が、16年度の決算が予想を上回る主要因になると考えている。一方で、新規店舗の初期段階における急成長期入りまでの期間の予想以上の長期化が主な下振れリスクであると考えている。

免責条項: 本資料は、情報の提供のみを目的としたものであり、有価証券の売買の推奨を意図したものではありません。コアパシフィック山一インターナショナル(香港)は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。本資料は、信頼に足ると考えられる情報源を基にしておりますが、その正確性や完全性を保証するものではありません。本資料内で示す内容は予告無く変わる場合があります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。コアパシフィック山一インターナショナル(香港)またはコアパシフィックグループの企業、同グループに関係ある個人は、本資料の使用または本資料への信頼に起因するいかなる法的責任も負いません。当資料の一切の権利はコアパシフィック山一インターナショナル(香港)に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則(平14.1.25)」に基づく告知事項>
本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。